

看護福祉学部・山田律子教授が「第14回 杉田玄白賞」を受賞



本看護福祉学部看護学科 地域保健看護学講座・山田律子教授の「第14回 杉田玄白賞」(主催: 福井県小浜市)受賞の表彰式・記念講演会が、12月12日午後1時から、小浜市の杉田玄白記念公立小浜病院で行われました。

今回の受賞では、全国からの応募の中から、山田教授による「認知症高齢者への食支援に関する実

践・研究活動において、摂食困難を改善するため、多数の実例研究から、患者の心理的要因を明らかにし、その対策やケア方法を考案し、実践ならびに応用をすすめるとともに、研究や実践活動を踏まえ、認知症高齢者がおいしく豊かな食事をしてもらえよう、食器類の配膳方法の工夫などの食事の環境づくりや自作パンフレットを活用した啓発活動の取り組み」が、審査委員会(須藤正克氏<会長・前 福井医科大学学長>、河原和夫氏<東京医科歯科大学教授・副理事>、行天良雄氏<医事評論家・元

NHK解説委員)により高く評価されました。

表彰式に引き続き行われた受賞者による記念講演会では、山田教授による「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために ～脳機能を踏まえた環境づくり～」と題する講演が行われました。

●杉田玄白賞とは

「杉田玄白賞」は、福井県小浜市が主催し、「食と医療」、「食と健康増進」、「食育と地域活動」の3つのテーマを対象に、「御食国(みけつくに)おばま」としての歴史と伝統、郷土の偉人・杉田玄白の功績と「医食同源」の理念にふさわしい進歩的な取り組みや研究等から功績顕著な人や団体を表彰しているものです。



歯学部・越野寿教授が、私立大学情報教育協会の「ICT利用による教育改善研究発表会 平成27年度 奨励賞」を受賞



私立大学情報教育協会の「ICT利用による教育改善研究発表会」において、本歯学部・越野寿教授が発表した研究テーマ「仮想患者を用いた教

育システムの開発と活用」が、「平成27年度 奨励賞」を受賞しました。

この研究は、増加しつつある有病高齢者に対して安全に歯科治療できるよう、3大学連携(昭和大学・岩手医科大学・北海道医療大学)で歯科医師会の協力により基礎知識習得と臨床推論能力養成のためのICT教材を開発・導入した取り組みです。eラーニング教材による課題学修やテスト、仮想患者教育システムによるチャット形式の医療面接等を通じて、学生すべてに症例を経験させ理解度向上に貢献したことが高く評価され、今回の受賞となりました。



〈学生キャンパス副学長制度〉

Student Campus President 2名決定いたしました。

薬学部

谷口 栄

(たにぐち さかえ)



楽しい学生生活を
送れるように

私が昨年1年間SCPの活動を行ってきて学内外のたくさんの方と関わることができ、学ぶことも多く楽しく活動することができました。

2期目となる今期では特に新生歓迎会やクリスマスコンサート、薬物乱用防止キャンペーンなどの行事を学生のみなさんに参加してもらったり、新しい企画を考えたりして積極的に盛り上げ、これらの機会を通してより多くの人にSCPについて知っていただければと思っています。

8期のメンバーと共に学内外問わずさらに充実した活動を行っていききたいと思いますのでよろしくお願致します。

歯学部

山中 大寛

(やまなか まさひろ)



私がSCPIになりましたら、他学部との交流を活発にしたいと思っています。交流の場所として部活動が皆さんの一番身近であると思うため、もっと活発な部活動を行える環境を整えたいです。また大学祭などでも交流が出来ると思います。

また現在行われているイベントの他に、皆さんが興味をもっていただけるようなイベントを企画していきたいです。こういうイベントをしてほしいなどご要望があったときは遠慮なく言ってほしいと思います。出来るだけみなさんのご要望に応えられるような活動をこれから行っていきたいと思います。

最後になりますが、このような活動には今まで特に参加したことがなく、頼りない場面もあるかもしれませんが、ご指摘、ご指導を皆様からいただくと幸いです。皆様の期待に応えられるよう、全力で取り組みたいと思いますので、何とぞよろしくお願い致します。